

資料配付の場所  
1. 筑波研究学園都市記者会  
平成 26 年 10 月 10 日配布

平成 26 年 10 月 10 日  
国 土 交 通 省  
国土技術政策総合研究所

## ロボットで老朽化が進む橋を点検する「現場検証」を行います

**国総研は、所内の橋梁において、「次世代社会インフラ用ロボット現場検証委員会」が行う橋梁点検ロボットの現場検証を実施**することとしましたのでお知らせします。

本現場検証は、ロボットの実用性等について評価し、**活用および開発を促進**するものです。これにより、**労働力不足が懸念される中、老朽化が進行し災害リスクが高まる橋梁など社会インフラの点検が効率的、効果的に行える**ようになり、安全安心と活力ある社会が支えられます。

国土交通省では、労働力不足が懸念される中、今後増大するインフラ点検を効率的・効率的に行い、また、人が近づくことが困難な災害現場の調査や応急復旧を迅速かつ的確に実施する実用性の高いロボットの開発・導入を促進するため、「点検ロボット」及び「災害対応ロボット」の公募を実施し、産学官の有識者からなる「次世代社会インフラ用ロボット現場検証委員会」において、現場検証・評価方法等を審議して参りました。

今般、**国総研内橋梁において、応募のあった橋梁点検ロボットの現場検証を以下のとおり実施致します。**

### 1. 実施日程

場所	実施日時	件数等
国総研内橋梁（茨城県つくば市）※別紙参照	10月14日 10:00-16:00	8件5者

なお、**国総研の現場検証を皮切りに**、今後各地で現場検証を行う予定となっております。実施日程は専用サイトにてご確認下さい。 <専用サイト> <http://www.c-robotech.info/>

### 2. 一般の方の参加申し込み

現場検証の見学を希望される一般の方は一般財団法人 橋梁調査会に事前にお申し込み下さい。  
(無料駐車場があります)

**報道機関の皆様へ** 取材ご希望の方は、一般財団法人 橋梁調査会に事前登録お願いします。

(問合せ先)  
【次世代社会インフラ用ロボット現場検証全般について】  
国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長補佐 増、 施工企画係長 岡本  
TEL: 03-5253-8111 (内線 24921、24922) 03-5253-8286 (課内直通) FAX: 03-5253-1551

【見学・取材の申し込みについて】  
一般財団法人 橋梁調査会 企画部 吉田、藤原 TEL: 03-5940-7788

国土交通省 国土技術政策総合研究所  
道路構造物研究部 橋梁研究室 研究官 宮原、横井  
TEL: 029-864-2211 (内線 3323、3324) 029-864-4919 (研究室内直通) FAX: 029-864-2690

**次世代社会インフラ用ロボット開発・導入の推進（橋梁維持管理技術）  
現場検証の開催について（連絡）**

次世代社会インフラ用ロボット開発・導入の推進（橋梁維持管理技術）について、下記のとおり国総研内橋梁において現場検証を実施いたします。

記

### 1. 実施概要

#### (1) 実施日時

場 所	日 時	摘 要
① 国総研内橋梁 (茨城県つくば市)	平成 26 年 10 月 14 日 (火) 10:00 ~ 16:00	構成する要素技術の検証のみ (システムとしての検証はおこないません)

#### (2) 実施技術

対 象 分 野	検証対象技術数		
[1] 鋼橋の近接目視の代替・支援 [2] コンクリート橋の近接目視の代替・支援 [3] コンクリート床版の近接目視の代替・支援 [5] コンクリート床版の打音検査の代替・支援	8 件 5 者		
技術名称	分野	法人名	検証スケジュール
橋梁点検ロボットシステムによる コンクリート床版のひび割れ幅計測	[3]	(株)帝国設計事務所	10月 14 日(火) 10:00~11:00
マルチコプタを利用した橋梁点検システム	[1] [2] [3]	川田テクノロジーズ(株)	10月 14 日(火) 11:00~12:00
小型無人飛行船とメカナムホイール小型検査 ロボットの併用による目視検査システム	[2] [3]	(学法)足利工業大学	10月 14 日(火) 13:00~14:00
橋梁点検用軽量伸縮ビーム	[3]	(株)ミライト	10月 14 日(火) 14:00~15:00
損傷検知装置	[5]	古河機械金属(株)	10月 14 日(火) 15:00~16:00

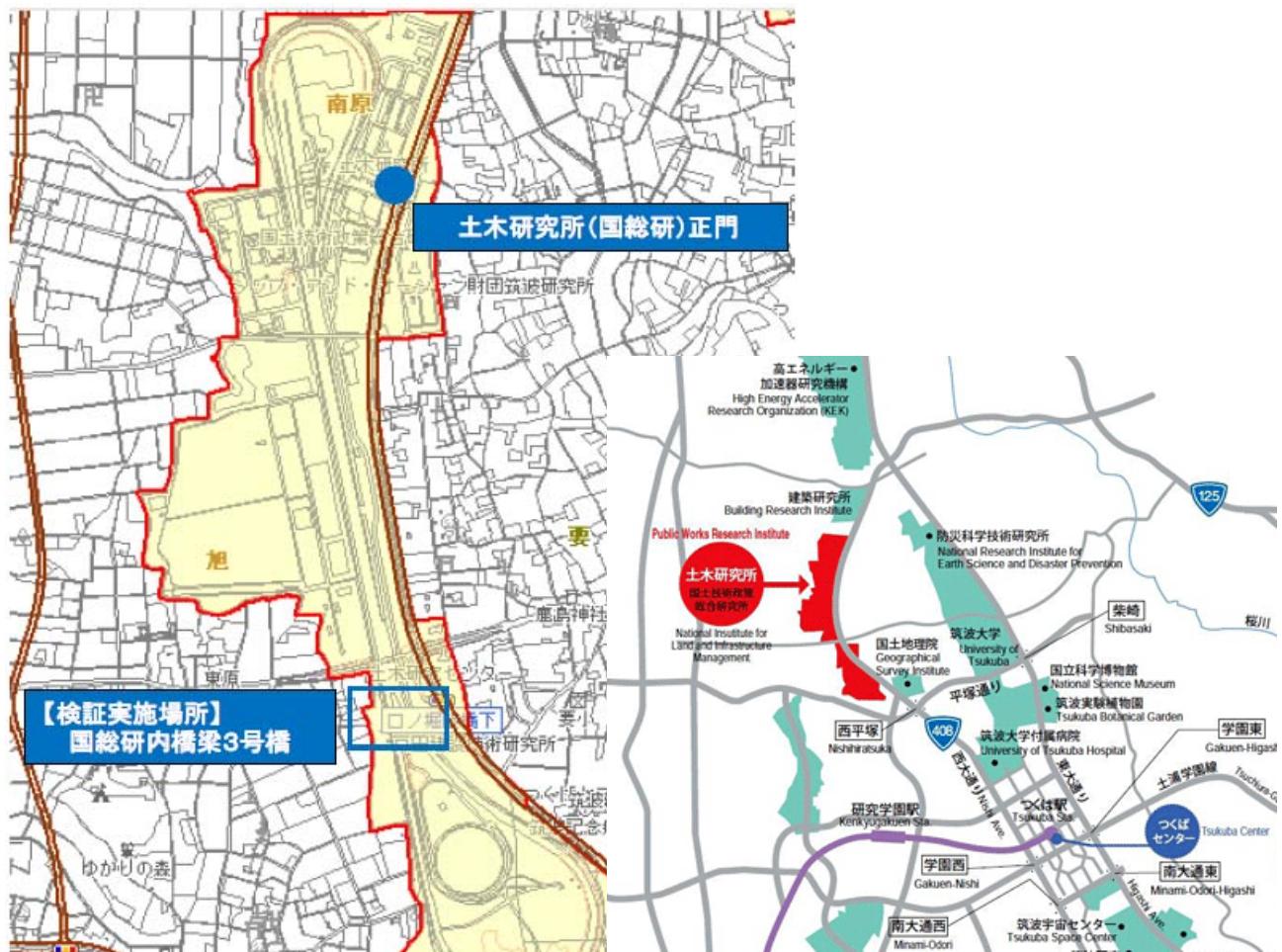
### 2. 会場案内

現場検証会場の案内図を別紙に示します。

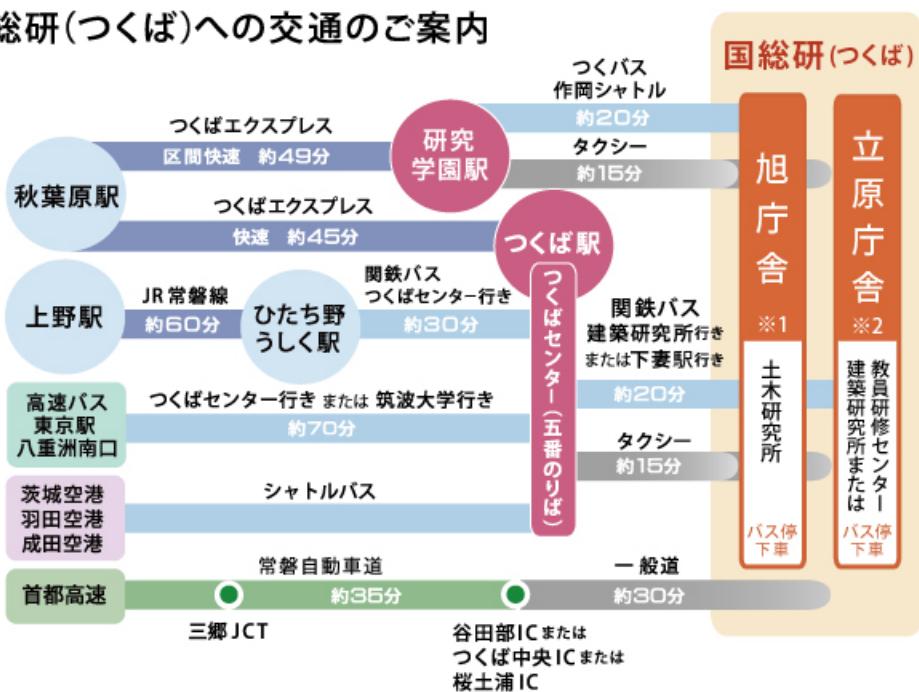
### 4. その他

- ・現場検証を見学される方は、ご自身で交通手段の確保をお願いいたします。
- ・現場検証の見学は見学者エリアを設置しますので、そちらで見学をお願いします。
- ・ヘルメット、安全靴などの保護具は特に必要ございません。
- ・当日は必ず現場検証担当者の指示に従ってください。

## 国総研内橋梁現場検証会場位置図(土木研究所と同じ敷地内です)



## 国総研(つくば)への交通のご案内

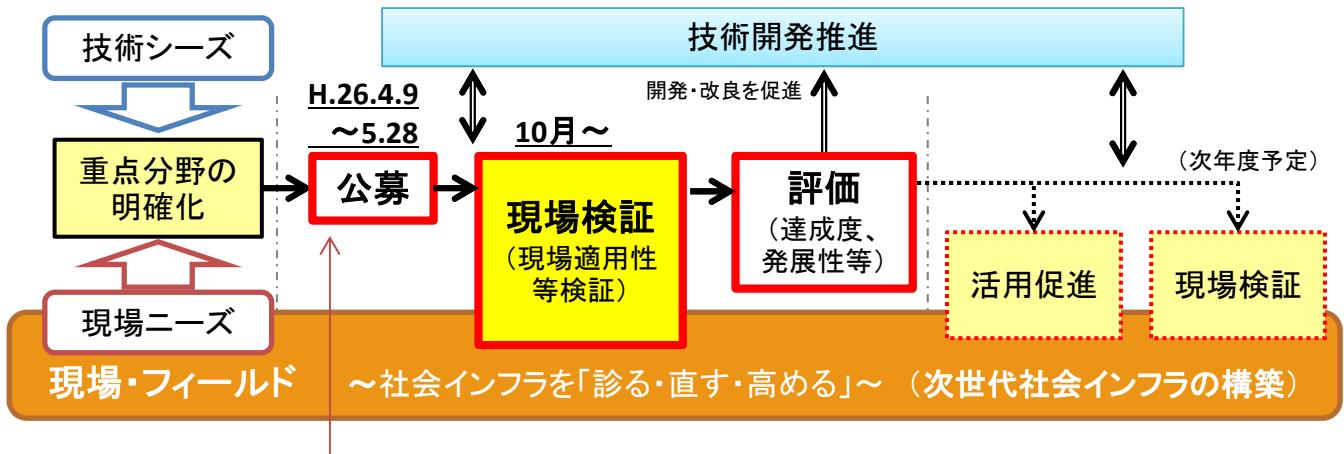


## 参考資料

### 次世代社会インフラ用ロボット開発・導入\_施策概要

社会インフラの現場ニーズ及びロボットの技術シーズに基づき、ロボット開発・導入すべき重点分野を明確化し、民間企業や大学等に対して公募し、現場検証を通じて、評価を行い、活用・開発を促進

※本公募と並行して、開発途上の新技術の支援策として、NEDOによる『インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト』を実施しております。詳しくは、NEDOホームページをご覧ください。



### 次世代社会インフラ用ロボット開発・導入の推進体制

#### 民間企業・研究機関等

#### 機器の開発

○日本の高度な水準の工学技術を活用し、インフラ維持管理や災害現場の具体的なニーズを踏まえた機器の開発支援  
【経産省中心】

- ニーズ調査の依頼等
- 試作機器の評価等

#### インフラ・災害現場

#### 現場での実証等

○開発の早い段階から、現場のニーズの伝達や試作機器についてインフラ・災害現場での実証(ニーズ調査・評価)  
【国交省中心】

ロボットの開発～検証～評価までの  
一体化した道筋をつくる

### 次世代社会インフラ用ロボットとして、「現場検証・評価」及び「開発支援」を行う5つの重点分野とその対象技術

#### I 維持管理

##### ① 橋梁

- ・近接目視を代替・支援する技術
- ・打音検査を代替・支援する技術
- ・点検者を点検箇所に近づける技術



##### ② トンネル

- ・近接目視を代替・支援する技術
- ・打音検査を代替・支援する技術
- ・点検者を点検箇所に近づける技術



##### ③ 水中（ダム、河川）

- ・近接目視を代替・支援する技術
- ・堆積物の状況を把握する技術



#### II 災害対応

##### ④ 災害状況調査（土砂崩落、火山災害、トンネル崩落）

- ・災害現場の被害状況を把握する技術
- ・災害現場の土砂等の状況を計測する技術
- ・トンネル崩落現場の引火性ガス等の情報を取得する技術
- ・トンネル崩落現場の崩落状態や規模を把握する技術



##### ⑤ 災害応急復旧（土砂崩落、火山災害）

- ・災害現場の応急復旧する技術
- ・災害現場（河道閉塞）の排水作業の応急対応する技術
- ・遠隔または自律制御にかかる情報伝達する技術